

令和3年度 第3回富山支部評議会の概要報告（速報）

開催日	令和3年10月27日（水）10：00～12：00
会場	瑠璃の間（ボルファートとやま4階）
議題	(1) 令和4年度保険料率について (2) インセンティブ制度について (3) 支部保険者機能強化予算について (4) 令和3年度事業計画の進捗状況について (5) その他
出席者	学識経験者：中村評議員（議長）、泉評議員、松原評議員 事業主代表：平野評議員、若林評議員、藤井評議員 被保険者代表：大森評議員、河口評議員、川津評議員

議事概要（主な意見等）

事務局より各議題について資料により説明。主な意見等は以下のとおりです。

**議題1. 令和4年度保険料率について**

資料1-1 協会けんぽ(医療分)の2020年度決算を足元とした収支見通し(2021年9月試算)について

資料1-2 令和4年度保険料率に関する論点について

参考資料1 今後の運営委員会・支部評議会のスケジュール（現時点での見込み）

（学識経験者）

協会けんぽとして今後の経済状況をどのように考えているか。

（事務局）

標準報酬月額、例年9月に定時決定によって引上げとなるが昨年度は下降しており、今年度も低調に推移している。一方、5年収支においては、今年度以降回復していく見通しとなっている。今後、最低賃金の引上げ等も予定されており、動向を見据えていきたい。

（被保険者代表）

毎年、収支の長期的な予測を見直しているが、収支が単年度で赤字となる時期は、前倒しになっているのか後ろ倒しになっているのか、予測における経年の推移を教えてください。

（事務局）

赤字への転落はこれまでの見込みよりも後ろ倒しになっている。また、令和2年度決算では医療費の支出が減少し、例年以上の黒字を計上した。一方、今年度の医療費は新型コロナウイルス感染症の流行以前の令和元年度の医療給付費を上回っており、楽観視できる状況ではないと考える。

(学識経験者)

収支が赤字となる年度が後ろ倒しになっている状態が続くのであれば保険料率を下げられるということになるが、新型コロナウイルス感染症の影響等、不確定な要素が多くある。今後急激に収支が悪化する可能性もあり、当初の予測よりも前倒しの予測が立つようであれば危険信号と考えるべき。

(事業主代表)

2025年という大きな変化の年を控え、新型コロナウイルス感染症や政府による社会保障制度全体の見直しなど、数年後の状況も見通せない状況においては、積極的に保険料率を変える必要はなく現状維持が望ましい。

(学識経験者)

約8割の健康保険組合が赤字を計上している。今後、生産年齢人口が減少し、高齢化に向かっていくことが分かっている中で、保険料率を将来にわたって10%を維持することは難しいと感じる。できる限り10%を維持していただきたい。

(学識経験者)

富山支部評議会の意見として、協会にはできる限り10%を維持していくことを考えていただきたい。

## **議題2. インセンティブ制度について**

資料 2-1 インセンティブ制度に係る令和2年度実績の評価方法等について

資料 2-2 インセンティブ制度の見直しに関する検討状況について

資料 2-3 インセンティブ制度の具体的な見直し(案)について(参考資料)

参考資料 1 今後の運営委員会・支部評議会のスケジュール(現時点での見込み)

(学識経験者)

富山支部の令和2年度の結果はどのように予想しているか。

(事務局)

インセンティブ制度は、絶対値だけではなく伸び率も評価されるため、正確に予想することは困難であるが、当支部の令和2年度の実績を踏まえると順位に大きな変動はないのではないかと。

(学識経験者)

令和2年度の特典保健指導等の実施率などをみると、感染拡大が大きい地域は実施率が下がっているように感じる。インセンティブ制度の指標に緊急事態宣言などの影響はあったのか。

(事務局)

緊急事態宣言が発令された支部において、前年度と比べて健診の受診率などの減少がみられる一方で、緊急事態宣言が発令されても受診率が増加している支部もある。新型コロナウイルス感染症の影響は全国的にみられ、緊急事態宣言が発令された支部のみが多大に受けているとも言い切れず、令和2年度実績を補正することは困難と考える。

(学識経験者)

令和4年度保険料率において、インセンティブ分の保険料率を0.007%に凍結した場合、新型コロナウイルス感染症が収束した際には、インセンティブ分の保険料率をどのように引き上げるのか。

(事務局)

0.007%に凍結する場合、本来0.01%であるインセンティブ分の保険料率を省令によって1年先送りする。

(学識経験者)

インセンティブ制度の実績が既に高い支部は伸びしろが少なく、伸び率のウェイトを高められるのは厳しいのではないかと。実績と伸び率の評価割合は同等程度とすることが望ましい。

また、ジェネリック医薬品の使用割合については、医薬品会社の問題もあり医薬品の供給不足が生じているという話を聞く。そういった状況の中で使用を促進していくことは困難であり、ダブルカウントの点なども加味し、評価指標から外しても良いのではないかと。

なお、社会保険の性質を踏まえれば、減算対象の幅については現状維持が妥当と考える。

(学識経験者)

既に実績が高い支部には伸びしろが少なく、高い実績を維持する困難さを考慮すべき。協会けんぽの方針として、実績が低い支部を引き上げるために伸び率の評価を行うことは理解できるが、どちらかに突出することは望ましくない。

ジェネリック医薬品については、国全体の使用目標に近づいており、ダブルカウントの問題もある。評価指標から外すことは妥当と考えるが、その代わりに、協会けんぽとしてジェネリック医薬品の使用促進以外の医薬品の課題に関してインセンティブ制度の指標に取り入れることも検討すべきではないかと。

(学識経験者)

見直し案において、特定保健指導対象者の減少率の配点が高くなっていることは、非常に重要なことであり賛成である。また、その他の見直しに関しても概ね賛成である。

ジェネリック医薬品に関しては、既に切替えが進んでいる。ポリファーマシーには改善の余地があるのではないかと。

(被保険者代表)

新型コロナウイルス感染症の影響により、インセンティブ分の保険料率の引上げが後ろ倒しになるということであるが、メリハリを利かせるためには、インセンティブ分の保険料率0.01%はそもそも低すぎるように感じる。

(学識経験者)

富山支部評議会の意見として、見直しの全体像には異論はない。また、実績と伸び率のウエイトに関してはどちらかに突出することは望ましくなく慎重な検討が必要であり、ジェネリック医薬品の指標を除外することは差し支えないが、他の医薬品の課題に関する指標の導入を検討すべき。

### 議題3. 支部保険者機能強化予算について

資料3 支部保険者機能強化予算の検討について

参考資料2 令和3年度支部保険者機能強化予算

(学識経験者)

看護職はこれまで病院の中で活動してきたが、これからは地域や企業にも積極的にでていくことが重要。認定看護師や専門看護師が増えてきており、重症化予防や生活習慣病改善に係る連携協力を図りたい。健康リテラシーを高めるためにもぜひ検討していただきたい。

(事業主代表)

特定保健指導対象者向け健診前勧奨事業のはがきが自分にも届いたが、それによって意識が変わり、運動するようになった。勧奨効果はあると感じており、事業を継続していただきたい。

(学識経験者)

保健指導の推進や健診前勧奨など、様々な取り組みを試していきながら、効果があるものを探していただきたい。また、他支部の事業なども参考にしながら、取り組んでいただきたい。数値が悪いものは何かしら原因があると考え、改善に向けて取り組むという姿勢を持ち続けていただきたい。

(被保険者代表)

富山県のマイナンバーカードの普及率や、オンライン資格確認が利用できる医療機関の普及率等の進捗状況について教えていただきたい。

(事務局)

マイナンバーカードの普及率は、全国平均の38.4%に対して富山県は39.5%と若干上回っている。オンライン資格確認については、全国平均では56.3%の医療機関がカードリーダーを申し込んでいるが、準備が完了している医療機関は8.9%、実際に運用を開始した医療機関は5.1%のみである。富山県内において準備が完了している病院は30.2%、医科診療所は6.5%、歯科診療所は10.2%、薬局は25.1%となっている。全国と比べて準備が完了している医療機関は多いものの、使える医療機関は限

定されており、まだまだ満足できる状況ではない。国においては、令和5年3月までに概ね全ての医療機関に導入することを目指している。

(学識経験者)

マイナンバーカードが普及されなければ、オンライン資格確認システムが動きづらい一方で、オンライン資格確認の普及がマイナンバーカードの普及を後押しするという関係がある。国や県の計画がある中で、協会けんぽとして意見が言える場があれば、積極的に発言していただきたい。

(学識経験者)

睡眠・運動習慣に関するバナーを YouTube 上やホームページ上でよく目にし、効果があるように感じる。視聴者数や費用対効果について教えていただきたい。

(事務局)

運動・睡眠習慣に関する Web 広告は今年の8月1日からスタートし、10月31日まで3か月間実施している。8～9月の2か月間で、延べ19,000人が広告をクリックして特設ページを閲覧いただいた。費用対効果を算出することは困難であるが、周知によってどのように運動・睡眠習慣が変化したかを確認していきたい。

#### **議題4. 令和3年度事業計画の進捗状況について**

資料4 令和3年度富山支部事業計画実施結果(上期)

特に意見なし

#### **議題5. その他**

資料5 健康保険委員の表彰について

特に意見なし

以上

特記事項

・傍聴者なし。

次回 令和3年12月16日に開催予定